

## 植物がよく育つpHを知りましょう!

pHは土壌の酸性やアルカリ性の度合いを示す単位で0～14まであり、pH7.0が中性です。

pH7.0以上がアルカリ性で数字が大きいほどアルカリ性が強く、pH7.0未満が酸性で数値が小さいほど酸性が強くなり、植物が育ちやすい土壌のpHは、一般的に6.0～7.0くらいです。野菜の育ちが悪いときは、土壌pHが関係している場合があり、最適なpH範囲は植物の種類、品種などで変わります。



pH	作物・野菜	果樹	草花
6.5～7.0	ハウレンソウ	イチジク	
6.0～7.0	エンドウ、トマト、ダイコン、キャベツ アスパラガス	ブドウ、アンズ	カーネーション
6.0～6.5	サトイモ、ダイズ、インゲン、エダマメ、カボチャ キュウリ、スイートコーン、スイカ、ソラマメ ナス、ピーマン、メロン、アズキ、 カリフラワー、コマツナ、シュンギク、ショウガ セロリ、チンゲンサイ、ニラ、ネギ、ハクサイ ブロッコリー、ミツバ、レタス	ナシ、カキ キウイフルーツ ユズ	キク
5.5～6.5	イネ、ライムギ、イチゴ、ラッカセイ、カブ ゴボウ、タマネギ、ニンジン	ウメ、リンゴ	
5.0～6.0	サツマイモ、ソバ、ヤマノイモ	モモ、ミカン	
5.0～6.5	ジャガイモ		
5.0～5.5		クリ	
4.5～5.5		ブルーベリー	チャ、ツツジ

## 最適pHを目安に調整する

酸性土壌の改良には消石灰、苦土石灰などの石灰資材を投入しますが、栽培する植物の最適pHに合わせて調整することが大切です。

	標準施肥量 (kg/10a) 畑の場合	土壌pH			すぐに pHを 上げたい	すぐに 作付けを したい	元肥と 一緒に施肥 したい
		酸性側	適正	アルカリ性			
消石灰	100～120kg	◎	○	×	◎	×	×
苦土石灰	100～120kg	◎	○	×	○	○	○
セルカ	露地160kg程度 施設80～100kg程度	◎	○	×	△	◎	◎

“日本は雨が多く土が酸性になりやすい” “畑の床の準備には必ず石灰資材を投入する” などの固定観念にとらわれすぎて、やみくもに石灰資材を投入するのは危険です。

長年、石灰資材の投入を続けた畑は、土が高pH（アルカリ性）になっているケースが多く見受けられます。

土がアルカリ性になると、ジャガイモのそうか病や、トマトの青枯病などが発生し、微量元素の欠乏による生理障害がおこりやすくなります。酸性の土ばかりが悪者のように思われがちですが、アルカリ化した土も植物に悪影響を与えます。

土を改良するために時間と経費をかけて石灰資材を投入し、かえって土を悪くしてしまつては本末転倒です。土のpH（酸性・アルカリ性）などの化学性は見た目だけでは判断できませんので、土壌分析を行い土の状態を確認し、必要に応じて改良することが大切です。

※詳しくは各購買店舗・能勢営農経済センターまでお問い合わせ下さい。

